

## 審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	平成29年度第2回松阪市文化センター運営委員会
2. 日 時	平成29年9月13日(水) 午後7時00分から午後8時15分
3. 場 所	農業屋コミュニティ文化センター リハーサル室
4. 出席者名	(委員) ◎梶 吉宏 ○中西 幸男・森本 小百合・青木 昭・柴田 実 ・海住 さつき・南 昇・萩原 則子 (◎委員長 ○副委員長) 8名出席 (事務局) 榊原課長・石田主任・村田クラギ文化ホール館長・上村主 幹・乾係員・和氣嬉野ふるさと会館館長・竹内飯南産業文化 センター所長 7名出席
5. 公開・非公開の別	公開
6. 傍聴者数	無し
担当	松阪市川井町690番地 クラギ文化ホール 担当者 : 館長 村田 益之 電 話 0598-23-2111 FAX 0598-23-2114 e-mail bunka.kai@city.matsusaka.mie.jp

### 議題

1. 平成30年度自主事業について
2. その他

### 議事録

別紙

平成 29 年度第 2 回松阪市文化センター運営委員会議事録

日時 平成 29 年 9 月 13 日(木) 19 時 00 分～20 時 15 分

場所 農業屋コミュニティ文化センター リハーサル室

委員 ◎梶 吉広、○中西 幸男、森本 小百合、青木 昭、柴田 実、海住 さつき、南 昇、  
萩原 則子 8 名

※ ◎委員長、○副委員長

事務局 榊原 典子、石田 賢太郎、村田 益之、上村 良知、乾 雅輝、和氣 清章、竹内 信介 7 名

傍聴者 無し

事務局 本日は何かとお忙しい中ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。それでは、ただ今から平成 29 年度第 2 回松阪市文化センター運営委員会を開催致します。では事項書 2 の委員長挨拶という事で、梶委員長挨拶をお願い致します。

委員長 皆さんこんばんは。お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。今日は第 2 回目の運営委員会でございますけど、主に平成 30 年度の自主事業についての報告ということをしていただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

事務局 はい。ありがとうございました。それではただ今から議事に入らせていただきます。松阪市文化センター運営委員会規則第 5 条第 2 項の規定では、会議は委員の過半数以上の出席がなければ、開くことができなくなっております。本日の出席委員は 8 名となっておりますので定足数を満たしており会議は成立しております事を報告致します。

それでは事項書 3 議題に移りたいと思います。松阪市文化センター運営委員会規則第 5 条に基づきまして委員長が会議の議長とまりますので、議事進行につきましては梶委員長よろしく願いいたします。

委員長 はい。それでは、まず議題 3. 報告事項で平成 30 年度の自主事業について事務局から報告説明をお願いします。

事務局 では資料 1 をご覧ください。平成 30 年度の自主事業についてご説明をさせていただきます。まずクラギ文化ホールにつきましては、合計 8 事業を選考しました。まず 7 月 26 日に「舞台裏見学会」を開催の予定となります。舞台裏見学会と言いますのは、普段見ることのできない例えば地下オーケストラピット機械の所、照明室、ピンスポットライトのエリア、音響室、楽屋、リハーサル室、大道具庫の見学となります。実際に照明調光室、ピンスポッ

トライト、音響室では機器を操作しての見学会となっており、毎年実施しており大変好評です。来年も行いたいと思います。定員につきまして40名を見込んでおります。次に7月29日に共催で「ハローキティのドリームトラベラー」というものを選考しております。ハローキティは皆さんご存知と思いますがサンリオのキャラクターとなります。サンリオさんの25周年の記念作品を今年各地で開催されており、それを来年度どうですか？という提案をいただきました。ハローキティはお子さんからお母さんまで大変人気がありますので、この開催は三重県で多分初開催となりますのでお客さんも結構入っていただけるかと思い、提案させていただきました。次に「ワンコインコンサート」を2本計画しております。こちらは県の文化会館との共同主催となっております。日程・アーティストにつきましては現時点では未定となっておりますが、平日の昼間に11時半開演で終演が12時半の1時間を予定しております。次に10月27日に共催で「中部フィルハーモニー交響楽団定期演奏会」を開催します。指揮者には青島広志さんが決定されており、演奏曲目については現在未定となっております。次に12月23日に、恒例の「松阪の第九」を行います。まず合唱団員を公募で募集をさせて頂いて例年松阪市内の方を中心に約200名が参加されます。平成30年度のオーケストラは三重フィルハーモニー交響楽団、指揮者には橘直貴さんを迎えることとなります。入場見込みは、850名を見込んでおります。次に開催日は未定ですが共催で「中村雅俊のコンサート」を検討しております。中村雅俊さんは、往年の俳優で歌手としてマルチに活躍を続けており又東日本大震災復興支援にご尽力されている方です。年代を問わずファンが多いので、お客さんの方もかなり来ていただけたらと考えており800名を見込んでおります。次に「クラシック音楽講座」を県の文化会館との共同での開催する予定となります。作曲家の人物像、作品の持つ魅力、作曲技法などにせまる新感覚のレクチャーを体験していくこととなります。体験や演奏を交えながらの分かりやすい解説があります。定員につきましては100名を限定とし入場料は県の文化会館と同額の1,500円を考えております。

続きまして、農業屋コミュニティ文化センターです。恒例の「スタインウェイピアノ演奏体験会」を8月3日と4日に開催する予定となります。このスタインウェイピアノは世3大ピアノのひとつで、あとベヒシュタインと、ベーゼンドルファーというピアノがあります。5歳以上の方でピアノに興味のある方を対象に2日間に渡って1枠が30分間で参加料は500円として合計24組を定員としております。次に毎年恒例の「なつかしの映画鑑賞会」を予定しております。現在チケットも発売中で今年から300円から500円に入場料金を値上げさせてもらったのですが、特にクリームもなく順調に発売しております。日程上映作品については未定ですが、概ね10月の2日間の開催を予定しております。

続きまして嬉野ふるさと会館です。こちらと同じく「スタインウェイピアノ演奏体験会」を7月7日8日の土日で開催する事を予定しております。次に8月30日に「歌舞伎 太刀の盗人」を提案しております。これは日本伝統芸能振興会さんによるワークショップ付きの催物となります。ワークショップは子どもをターゲットとしたものになっており、舞台上で開催するという事になります。第2部が太刀の盗人となります。入場料につきましては、一般が1,500円で高校生以下が700円で入場見込みは350名を予定しております。

次に飯南産業文化センターは、自主事業と違って飯南産業文化センター独自の予算で今回

は予算計上していくとお聞きしましたのでこちらの方では計上しておりません。

続きまして文化芸術団体共催事業による事業です。まず4月1日に「宣長さん吟剣詩舞道大会」というのを開催します。入場料については現時点では未定となっております。次に9月1日2日に、「第8回松阪市民ギター音楽祭」を開催します。1日にフェスティバルの部門の一般参加者による独奏・重奏と書かせていただいたが、コンサート部門をその日の午後にするかを検討しております。2日はフェスティバルの部門の一般参加による合奏と今のところコンサート部門となっております。入場料はコンサート部門のみ有料となりA席が2,000円の指定席となりB席は一般の方の自由席、C席は学生席となっております。次に11月2日に「第5回松阪市民能」の開催となります。地元の会員さんと能楽師による能の舞台が演じられる催物で、入場料は1,000円となっております。

前回皆さまに色々ご提案いただいたのですが、なかなか皆さんの意見が反映できず、申し訳ないと思っております。英会話のスピーチ、フィリピン人のダンスはどうですか？というのがありましたので、それにつきましては教育委員会の学校支援課に打診させてもらっております。あと口笛のチャンピオンのコンサートですが、今回提案しました事業で、予算枠が余っておりませんでしたので、今回は不可能となりましたので31年度に開催できたらいいなど考えております。また、委員さんから「癌患者の第九」の参考資料を送っていただいたのですが、クラギ文化ホールは松阪の第九を毎年開催しておりますので、もう一つ同じ第九となると難しいと思います。主催者を例えば保険福祉部さん主催とかそういう事になるとまた可能かと思っております。

委員 病院が主体とならないといかないですね。

事務局 そうですね。

委員長 はい、という事で来年度の計画でございますけども、実は予算に縛りあり私もこれやったらどうでしょうと色々言ったのですが、結局会館事業費のこの9,977,594円これが縛りなんですか。

事務局 はい、ここが1,000万以下になります。

委員長 そういう事があるもんですからやりたいもの全部入れることは出来ないというここは、ご認識いただきたいと思えます。一応ご説明ありましたのでご質問があればしていただきたいですし、この計画を現時点で変えるという事は難しいですけども、次の再来年度にこういう事をしたらどうかという事をご提案をぜひ言っていただきたいと思えますので何かご質問及びご提案があれば、お受けしたいと思えます。いかがでしょうか。

委員 今回は、学校数がどんどん少なくなってきてますので、廃校になられたところの校歌とか統合された学校の校歌などを、市民参加で皆で歌う会などを催していただいで残していただくと教育と文化の継承に繋がるのではないかと考えて参りました。以上です。

事務局 ありがとうございます。

委員長 今のご提案は教育委員会と一緒に残しておくといういい効果もあるかもしれませんが、せめて音だけでもご検討をぜひお願いしたいと思います。他にみなさんご質問どうぞおっしゃて下さい。

委員 舞台裏見学会ってどれくらいの時間なんですか。

事務局 約1時間半になります。

委員 スタインウェイピアノ演奏体験会は公開されているのですか。弾いているところを。

事務局 弾かれている方が了承すれば、見学OKになります。

委員 音だけ聴きたいとかいう方がいたら、弾いている人によるわけですか。

事務局 弾かれる方に了承されればということになり、他人の方のを聴きにくる方はみえないですが、記者さんがよくみえまして、了承されましたら聴いていただいて、その後にインタビューを受けていることがありました。

委員 宣長さんの大会、これはなんなんですか。詩なんですか、舞道なんですか。

事務局 詩吟と剣舞があるものです。

委員 別の人が振るわけですよ、詩吟しながら振るわけではない。

事務局 はい、詩吟は詩吟の方が、剣舞は剣舞の方が演じます。

委員 よろしいですか。ちょっと説明させて下さい。これは宣長さんの吟剣詩舞道、要するに詩吟なんですけど、詩吟と詩舞というのは似通ったもので、こっちの剣舞も詩舞も一緒に詩吟とやるものです。それと主に詩吟が多いですが詩吟にあった舞、詩吟にあった剣舞をそういうものを組み合わせてやるものです。

事務局 ご説明ありがとうございます。

委員 宣長さんということは、宣長さんを主とした詩吟ですか。

委員 そうです。宣長さんを主にしたもので劇的なもの。宣長さんの今までの功績を取り上げて

やります。

委員長 会館を市民に無料で貸していただくわけだから、必ず入場料を取るという事はそれだけの質を単に同行会の集まりでやるなら、自分たちでやればいいので無料で使わせていただくという事はぜひ意識していただいて、基本的にはそれを通じて松阪で詩吟の文化が広がっていくという事が目的ですから、そこを主催される方も気をつけてぜひお願いしたいものです。

委員 詩吟というのは難しくて結構わからないのですが、初心者の方が聴いても分かるようにしてもらえたら、多分雰囲気解るんですけど、何を言われているのかとか。

委員 是非、レクチャーをしていただきたいです。

委員 さっき歌舞伎では、ワークショップがあると聞いたんですが。

事務局 はい、嬉野の歌舞伎でワークショップも開催されます。

委員長 附属で広げるために付けなければいけません。附属でこの大会の午前中とかに1時間レクチャーするとかです。皆さん仲間を増やすための活動をぜひ一度考えていただかないと、やっている人しか行かない所になると、広がりも日本の三曲もそうだし日本舞踊も広がっていかないとよく言われる。お琴とかやったって、お客さんはやっている人だけしかいない。だから総合フェスティバルとか色々やりますが、三曲の時にはぐっとお客が減って、合唱とか他になるとまた戻ってくる。今おっしゃるように詩吟は私も全く解りませんということは行く気もしないですから、だから付随的に午前中ちょっと皆さんに詩吟とはこういうものだレクチャーを1時間くらい作っていただくとか是非それをこの機会に提案していただくといいと思う。

委員 はいそうですね。

委員長 他に何か質問とかありますか。

委員 別とおっしゃったけど、飯南産業さん何か決まっているのですか。

事務局 飯南産業文化センターは、自主事業ではなく出来ればこちらの考えでは、運営事業費にか小さい枠でしたいなと思っています。

委員 あとハローキティですね。私、ハローキティができた時からのファンでした。

事務局 ありがとうございます。

委員 サンリオピューロランドのミュージカルを本格的に宝塚歌劇団の人が演出するもんです。凄いですよ。だから2,000円はお得だと思います。私、行きます。

事務局 ぜひお願いします。ありがとうございます。

委員長 はい、ありがとうございます。他に何かいかがでしょうか。

委員 松阪には全国に誇れるものが結構あるんですよ、古代遺跡にしてもそうでしょ、飯高もあるし、嬉野や天白それから朝見の方も出土されている、伊勢街道があったかつての国道1号あたりも昔から栄えているし、古墳も宝塚古墳だけじゃなくて、周りが古墳だらけです。そういう事を市民が知ってできれば連携をしながら何か新しいものとして付加価値を出せるものを一緒に考えていくとか、有形文化財もあるし無形文化財もそれを文化センターばかりじゃないですど、それぞれの地区にあるので、そういうところで発表したり公演したり、そういう形でまずは松阪の人が知って、それをもってよその集客を考える、そんな事も文化施設の中でやってもいいんじゃないかなと考えられました。文化センターにロビーがあります、ロビーを使って来た人に松阪の魅力をどんどん伝えていく、そういう事を来てくれた人に見てもらってこんな事もある、何かそういう他のイベントを利用して臨時の情報を発信し、そんな形で松阪の魅力あるものを発信していく、それを進めるに当たってはいろんな部署と連携しないといけないと思います。部署間の連携をして松阪のもつ魅力を市民がより知ってより新しいものにしていく、そういうものに仕上げて自分の生れた松阪市に自信と愛着が生まれて若者が勉強した後に地域に戻ってくるという町に、長期展望に持って一つの試作に文化センターを手段として使っていただくと考えてはどうかなと思ってきました。今日、明日の問題じゃないのですが、他の部署と連携で考えていただければいいなと思います。

事務局 ありがとうございます。

委員 よろしかったらこれをどうぞ。

事務局 観光交流課の方と協議してみます。

委員長 教育委員会の方ともね。

委員 教育委員会もそうだし、産業振興も多分ありますので地域活性も色々ある。

委員長 連携してね。

委員長 他に何かありますか。

委員 ワンコインコンサートが未定というのは、日付けが未定というだけですか。

委員長 アーティストも演奏曲もまだですね。いくつかの候補の中から選ぶのです。

委員 さっき口笛奏者の方が予算の関係から 31 年度以降に検討になりますと言われたので、それはワンコインに入ってこないのかなと思ったものですから、候補の一つをチョイスしてみつけて決まるということですね。

事務局 そうです、県の文化会館との共同開催となりますので県がされるものの中から選ぶこととなります。

委員 そういう事ですね。

委員 松阪出身でワンコインコンサートをやって応援してあげようというような感じにはならないのですかね。

事務局 松阪出身者では以前県の文化会館で開催されました、ツカモトシスターズがいます。その翌年度にツカモトシスターズを嬉野ふるさと会館に呼んでコンサートを開催しましたという実績はあります。

委員 このワンコインコンサートは、最初に始まった理由はそうですね。地元の人を応援しようという感じで。

委員長 そうではない。発想はそうなんですけど地元の人をやるとお客さんが離れてしまうのです、地元はどうでもいいんです。レベルが高くないと全国的とか世界的に活躍するレベルでないと地元だけの人のレベルでは、まだ全然名前が出てない人をもって来るとお客さんが来ない。あくまでレベルが高くて尚且つお客さんも聴きたい、西野かなさんとツカモトシスターズとか他の都市でやってる。もちろんそのレベルの方がいらっしゃれば、地元三重県出身もやってますけどそれが条件なんです。だから盛り立てる為にはではないです。お客さん中心ですから、クラギでは場合によっては入場者が 800 人を超えるんです、500 円でこんな人の演奏が聴けるのということでね、誰もその演奏家を応援するために 500 円払ってなんて来ないですよ。それは甘いです。

委員 そうじゃなくて、そういう地元の人がいたら応援する場にもいいですよねとの話なんです。

委員長 結果的には、レベルの低い人は無理です。よく私のところに売り込みにくるのです。この人どうですかと来るんです、しかし全然駄目で私がやってる基準では、東京でリサイタルをやっている実績のある方でなおかつ CD を出されている方。なかには世界コンクールで 1 位を

取ったとかあるいは、日本全国音楽コンクールに1位を取ったとかですね、そういう実績のある方を選んでいく、そうすると皆さんは来てくれるんですよ。そりゃそうですよ、なんでこんな人が500円で聴けるのと。

委員 ても反対に500円でよく来ていただけますね。

委員長 アーティストにしてみたら、有名でも三重県地方ではなかなか名前が売れないんですよ、だからあくまでも演奏者にとってはPRのつもりで来ていますので、普通はプロモーションとかPRは自腹を切ってやる。ところがそれなりの高くはないですが支払いまでいただいて、自分のPRができて例えば私どものところで、1,000人、松阪で500人、600人それから四日市もやれば、2,000人以上の三重県のお客さんに聴いてもらう事ができる。非常にアーティストにとったらプラスになる。そんな事がありますのであくまでもそこが条件です。そこを誤解のないように。私は応援する気があります。できれば応援したい。口笛の方はたしか、全国で1位を取られた方ですね。

委員 世界で1位です。大阪の方です。

委員長 そういう方だったらみなさん喜ばれると思うのでね、ぜひ来年ではなくても再来年とか入っていただいたら。他になにかありますか。

委員 ワンコインの話になるのですが、こんなアイデアもどうかと考えました。私が勤めていた会社が客船を運行しておりまして、毎晩エンターテイメントショーがあったので、そのリストを出したら何か役に立つのかなと思っていたんですけど、あんまり役には立たないのでしょうかね。

事務局 そんなことはございません。参考にしたいです。

委員長 ぜひ、参考の為にお出してください。できるかどうかかわらないと思いますが。

事務局 お願いします。

事務局 可能であれば、ワンコインコンサートを3回に増やしたいのですか。

委員長 可能です。

委員長 他に何かご提案、質問はありませんでしょうか、ただ今の議案について。

事務局 意見というか皆さんにご相談したいのですが、毎年中部フィルハーモニー交響楽団の演奏

会をやってるんですがチケットが売れない、たくさん人が来てくれる方法みたいなんがあったら教えていただきたいんですが。

委員長　いかがですか、ご提案を。

委員　廃校になってる学校の校歌を演奏してもらおうとか。それを各校の校歌のメドレーをしてもらうのは難しいですかね。

委員長　それは難しいと思います。

委員　指揮者によって違う。来年の青島さんなんかいいと思います。

事務局　来年はいいと思いうんですけど今年は松阪地区の高校生吹奏楽部との共演のため、今までのオーケストラとは違った趣向になり、管弦楽を聴きにみえた方が来なくなってしまうという面があります。オーケストラの管弦楽ではなくブラスの曲になりますので、クラシックファンにとってはかなり違いますので。

委員長　難しいですよ、これはプロでなければわからない話で本当に難しい。だいたい私からみて入らないのは、中部フィルさんの曲目を選ばれる計画された方が、あまりにも素人すぎます。入らないのは当たり前。だからまず自分らがもっと考える事と場合によっては、それこそ私のところに相談に来られたら、100%じゃないかもしれないけど少なくとも今よりは、入るのじゃないかと私は言えると思います。私からみてもこれまでの企画をみると入らないの当たり前だと思って、昨年ドヴォルザークの新世界をやるのならわかりますが、交響曲7番をやったんですよ。

事務局　おっしゃるとおりです。

委員長　交響曲7番を松阪でやって入るわけがない、ハッキリ言って。だからそういうことみると今回のプログラムの内容でもなんでしたっけプログラムは吹奏楽の曲で。

事務局　ローマの松などです。

委員長　なんか知らないような、あれで学生はお金出して来ませんよ。学校がまとめて吹奏楽部とかが来るとかは別で。先生、学生は忙しいしクラブもあるし全然考え方が甘いんで、館長さん私のところへもう1度、昔言った事があるんですが、中部フィルさんにまた相談に来るようにおっしゃって下さい。なかなか普通では難しいと思います。私が言うに無茶苦茶難しいんですから、お客を入れるためのプログラムはそれで頭悩ましてるわけですから。以上でございます。

委員 ありがとうございます。

委員長 他に何かありますでしょうか。事務局の方を含めまして。

委員長 来年度の事業としてこういう事でやらせていただくという事と同時にまた再来年度については、皆さんのご意見をいただく機会が2月頃かな、またありますのでその時まだ間に合いますので、色々考えていただければと思います。次にその他に移りたいと思います。議題4のその他について事務局よろしくをお願いします。

事務局 当文化センターでは、クラギ文化ホール、農業屋コミュニティ文化センター、嬉野ふるさと会館、飯南産業文化センターと4館があります。4館それぞれのホールの天井が吊天井方式というものになっております。吊天井になりますと、大地震が発生した時に横揺れで天井が、がさっと落ちてくる場合があります。そういう恐れがありますので、これからの落下防止の為の設計工事に向けて準備に取り掛かっていく段階となっております。そのことにつきまして乾係員から説明させていただきます。

事務局 吊天井特定天井の新基準というものが平成26年4月に出来ておりまして、6m以上の天井高、200㎡以上の大きさ等々の部分に対して新しく基準が出来ました。文化センター4館が平成26年4月以前に建ってますので、その新基準というのは遡って適用されないというものなのですが、東日本大震災の時に多くのホールの吊天井が落ちたという事で、怪我人や死者が出てきておりましたので、その辺りも含めて文化センター4館の吊天井改修について検討委員会を立ち上げたいと思っております。その検討には市職員だけでなく、建築の専門家、文化センター運営委員さんにもお声かけをさせていただいたのですが、3名に出てください、今年中に吊天井の改修について文化センター4館について改修の方針を決定したいと思っておりますので、その報告をさせていただきたいと思います。委員に選定させていただいた3名に関してはこれからもよろしくお願い致します。以上です。

委員長 では、よろしく願いいたします。何か今の件でご質問ありますでしょうか。

委員 去年クラギ文化ホールを直していたのは、耐震ではなかったでしょうか。

事務局 補強をさせていただきました。クラギ文化ホールに関しては特に35年経過しているので改修していくという考えもありましたので、今回検討させて頂いてる中で新基準に基づいて改修させていただくとかなりの金額となりますので、補強という形で先行させていただきました。何故クラギ文化ホールだけなのかというところが一番古いという事と、吊の長さがすごく長いところと、ハンガーというもので天井材を吊っているのですが、それが引っ掛けるだけになっているのと、あとは天井面積が一番広いということですので、先行して補強させていただきました。補強した事によって中地震、震度5くらいまでは耐えられるよになっ

ております。今後補強のままではいけないと思いますので、新たに新基準に基づいた改修をしていきたいと思っております。一度補強をしておりますので、クラギ文化ホールは後で直していくという考えとなっていくかと思っておりますけど、その辺りを含めて検討委員会でお話させていきたいと思っております。

委員 吊天井は震度いくつまで大丈夫なんですか。

事務局 新しく出来た基準では、中地震までは耐えられるようにという新しい基準のものが出来たのです。どうしても吊天井を建物から吊ってますので、躯体は震度7まで大丈夫といっても建物の中が震度7まで持つかどうかは新しい基準では言えない状態になっているのです。一度補強させていただいて、その新基準と同じくらいの体力を持っているような状態なので、直し方にも色々あって躯体と同一化させてその震度まで耐えられるようにする方法もありますので、その辺りをまた難しい話になってくるのですが、お話しさせていただきたいと思っております。

委員長 よろしいでしょうか。他に何かご質問ありますでしょうか。それでは、次に移らせていただきたいと思っております。事務局の方から何かありませんでしょうか。

事務局 私の方で意見を述べさせていただきたいのですが、よく高校生が会館のガラス面の前で、ダンス練習をやっているのですが、ガラス面にフィルムを貼って少しでも映りやすくして、ダンスの練習をより出来るようにしたいと思っております。事務所の隣に子ども支援研究センターの体育室がありまして、その前の大きなガラス面と、コミュニティ文化センター入口の左側部分のガラス面にフィルムを貼って映りやすくしてサポートをしたいと思うんですが、それについて皆さんご意見ございましたら聞かせていただきたいと思います。

委員 遮光フィルムですか。

事務局 遮光というよりはマジックミラーみたいな外側から見たら鏡、中からみたら外が見えるようになっているものです。

委員 芸術ってまずは体を使って表現するのが一番というのを、習った事があるのでとっても嬉しいですね。三重大大学の生徒さんや卒業された方が、県の文化会館のテラスに寄るじゃないですか、音楽を流しながら皆がよって練習をしてみえましたのでこれはすごいなと思っております。

事務局 ありがとうございます。

委員長 ぜひその方向でお願いします。

事務局　それでは、次回第3回目の開催となりますが、平成30年度の自主事業の決定したものについての報告と29年度の終了しているものについての事業の実績を報告したいと思っております。開催日程ですが毎年2月に開催しており、2月14日水曜日、15日木曜日、23日の金曜日、28日の水曜日、皆さんのご都合の良い日はいつでしょうか、いつがよろしいでしょうか。

委員長　次回ですね、都合の悪い方挙手をお願いします。

委員　23日は駄目ですね。

委員長　事務局いつに決めますか。14日、15日か28日で。

事務局　では、15日でいかがでしょうか。

委員長　今回は2月15日19時からという事で、またご都合悪ければお聞かせいただけたら。

委員長　後ご質問とか他ございませんでしょうか。事務局よろしくをお願いします。

事務局　それでは、本日は長時間にわたりご審議いただき、また貴重な時間を頂きありがとうございます。夜も遅くなっておりますので、お気をつけてお帰りください。ありがとうございました。

委員　ありがとうございました。

委員長　どうもありがとうございました。